社会資本総合整備計画　　事後評価書

計画の名称	安全・安心な歩行空間の確保と都市の円滑な交通を支援する街路整備（防災・安全）		
計画の期間	平成２９年度　～　令和０３年度　(5年間)	重点配分対象の該当	○
交付対象	秋田県		
計画の目標	通学路における安全・安心な歩行空間を確保するとともに、都市の円滑な交通を確保し、まちの活性化を支援する。		

全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	5,708	A	5,708	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H29当初)	(H31末)	(H33末)
1	通学路合同点検において指摘・公表された通学路における、安全・安心な歩行空間確保率の向上			
	歩道未設置の通学路において、歩行空間が確保された延長の割合。有効幅員（2m以上）確保延長より算出。 （歩行空間確保延長（m））／（整備計画区間全延長（m））×100　(%)	0%	0%	39%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

「秋田県国土強靭化地域計画」に基づき実施される要素事業：A01-001～003

案件番号：　0000554130

A 基幹事業

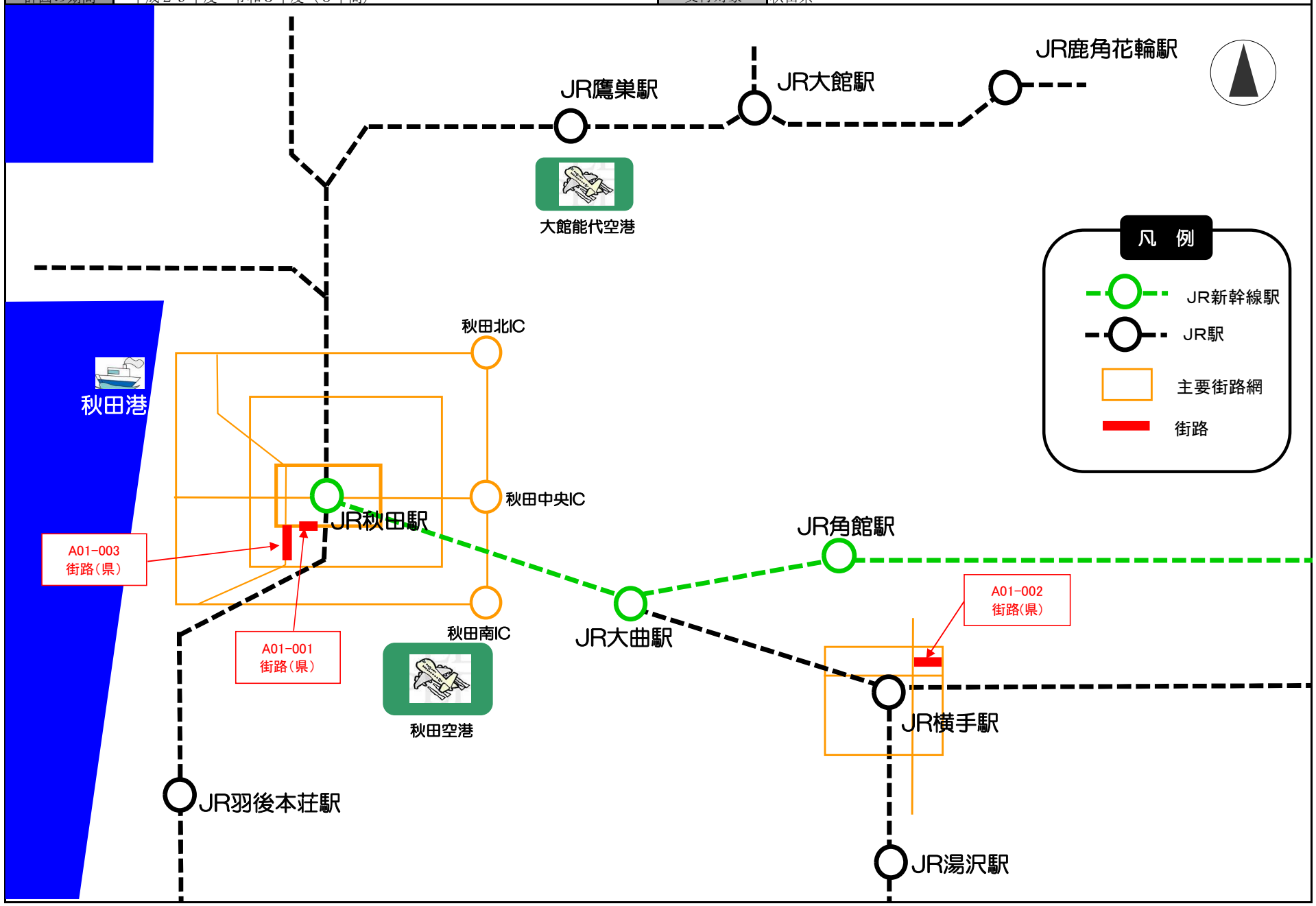
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H29	H30	H31	R02	R03	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	秋田県	直接	秋田県	S街路	改築	川尻広面線（横町）	現道拡幅 L=0.2km	秋田市	■	■	■	■		2,550		―
		P10から移行																	
	A01-002	街路	一般	秋田県	直接	秋田県	S街路	改築	八幡根岸線（根岸町）	現道拡幅 L=0.3km	横手市	■	■	■	■	■	1,484	1.33	―
		H29新規																	
	A01-003	街路	一般	秋田県	直接	秋田県	S街路	改築	新屋土崎線（旭南）	現道拡幅　L=1.1km	秋田市				■	■	1,674		―
		P10から移行																	
											小計						5,708		
											合計						5,708		

案件番号：　0000554130

事　後　評　価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 秋田県の街路事業担当課において、事業実施状況・指標の達成状況の確認及び評価を実施。	事後評価の実施時期 令和３年度予算の事業完了後（令和５年度） 公表の方法 秋田県のホームページで公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	事業が完了したA01-001川尻広面線（横町）において歩道の整備を行ったことにより、安全・安心な歩行空間の確保が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
事業中の路線についても、早期の事業完了を目指し、更なる安全・安心な都市防災機能の向上を図る。	

案件番号： 0000554130

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	歩行空間が確保された延長の割合		
	最　終 目標値	39%	
	最　終 実績値	39%	

参考図面(防災・安全交付金)

計画の名称	9　安全・安心な歩行空間の確保と都市の円滑な交通を支援する街路整備（防災・安全）		
計画の期間	平成２９年度～令和３年度（５年間）	交付対象	秋田県